

市議会だより

編集 議会だより編集委員会
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)



豊明市議会
議会改革
推進協議会

議員全員で議会改革に取り組むために、「豊明市議会議会改革推進協議会」を設置し、月1回以上協議会を開催しています。

平成27年 6月定例月議会

..... あんない

一般質問(代表・4名)	P 2~P 3
一般質問(個人・12名)	P 4~P 9
議会報告会	P 10

一般質問
一質代表

地方創生総合戦略について

公明党市議団 近藤 千鶴 議員



小中学生の交通安全対策について

問 国の動向について。
答 国はまち・ひと・しごと総合戦略とあわせて地方創生を行う。

問 本市の現状は。
答 今年度、地方版の総合戦略を構築していく。

問 今後のスケジュール戦略の内容状況について。
答 人口動向や、企業の進出意向などの調査を経て、人口ビジョンや総合戦略を形にし、年明け2月ごろ完成させたい。

問 総合計画との関連性について。
答 同計画の施策体系に織り込み、ツリー型ロジックモデル等を利用した事業管理を予定。

問 本市の財政運営の現状と今後について。
答 少子高齢化により非常に厳しくなる予想。人口増加施策、企業誘致施策を積極的に推進し安定した財政へ。



問 事故の現状について。
答 昨年度の報告件数は、16件です。

問 交通安全教室の開催を市内全校、毎年実施が必要と考えるが、当局の考えは。
答 一部の小学校で実施をしている。規模が大きくなるのでのびままでやるのか考えたい。

問 小中学生への自転車免許の交付について。
答 交付の仕方について検討する。

問 小中学生の通学路の整備の推進状況について。
答 通学路の緊急合同点検をし、31力所対策した。継続的に通学路の安全点検を実施していく予定。

一般質問
一質代表

小浮新市長に問う

市長交代で市政はどう変わるか
市長マニフェストの実現について

市政改革の会 山盛 さちえ 議員



問 政策面で前市長から継承する点、転換する点はどこか。
答 継承は、人口増加(4年間の)最大目標と位置づけること。違いは産業振興・企業誘致をもう一つの柱としたこと。

問 「市民負担の軽減」はどうなるのか。
答 必要な方には軽減を図っていくかねばならないが、受益者負担は当然、市民の皆さんに求める。

問 「大事なことは市民が決める」は続けるか。
答 「市民が決める」の前に、関係諸機関と話し合うことが重要。議員と議論することが市民と議論することだと考えているが、小学校区で市民の意見を聞く場を設けたい。

問 「役所の体質改善」についてはどうか。
答 縦割りや前例踏襲を解決していく思いは全職員に浸透している。

問 市長マニフェスト人口増加のうち、子育て世帯の流出抑制策として、近隣より高い保育料、近隣より短い児童クラブや子ども教室の開催期間・時間を拡大してはどうか。
答 小学校に入るころの子どもが減っている。第一に宅地開発を図りたい。また、病後児保育や駅前保育等を考えている。

問 人口増加や企業誘致による増収見込み額は。
答 相手があることなので、市が一方的に述べても何の意味もない。

問 前市長は4年前の6月議会報酬半減した。小浮市長もマニフェストに掲げながら、削減を提案しなかった理由は。
答 それを議論する時間になかった。私は報酬以上の仕事を間違いないと確信している。

問 職員増で人件費が膨らみ、結果として受益者負担増に繋がるのでは。
答 税収と人口をふやすために、一時的に職員をふやす。

一般質問
一質代表

市長の所信表明およびマニフェストについて

新風とよあけ 近藤 善人 議員



問 住宅の整備促進について。
答 阿野の平地土地区画整理事業は、1・6ha。現在全体計画を進めている。

問 公共交通網の拡充について。
答 名鉄バスの運行路線や近隣市町のコミュニティバスとの連携、地域乗り合いカーの導入などゼロベースで進めたい。

問 教育環境の充実について。
答 本年度よりスクールソーシャルワーカーの導入を考えている。不登校未然防止のため、子どもと向き合う時間を確保することが必要と考え、朝の職員会議を夕方にし、パソコン・電子黒板を使って短くしている。土曜学習については、中学生を対象に月1回程度始めていきたいと考えている。

問 公共施設のアセットマネジメントについて。
答 公共施設を置くタイミングで縮減を提案していきたい。

問 勅使池・二村山周辺の有効活用について。
答 公園の広場にいろいろな種類の桜を植えるところを考えている。

問 市長・副市長の報酬について。
答 副市長を置くタイミングで縮減を提案していきたい。

問 昨年度、施設白書と公共施設等総合管理計画を策定し、パブコメを実施中。今後40年で3割削減しなければならぬ。
問 企業・事業所誘致について。
答 豊山地区は、都市計画法の34条12号という区域に指定。県から認められた先端技術の企業が起業できる。

問 防災について。
答 今年度より豊明市の防災・水防訓練の実施方法を見直している。地域における住民同士の連携を強化し、防災意識の向上を図っていききたいと考えている。

一般質問
一質代表

市長の方針、豊明市の今後について

障がい児世帯への支援、学校教育充実、公共施設統廃合、前後駅前・豊明駅前活性化

ひまわり 三浦 桂司 議員



問 障がいを持つ児童・生徒の保護者負担は重い。障がい児放課後児童クラブ開設の考えはないか。
答 民間の児童施設で行っているもので、まずはその方向で進めたい。

問 スクールソーシャルワーカーは今年1名の配置だが、各中学校に配置する予定はないか。
答 有効であれば来年度は増員したい。

問 土曜学級は経済力による学力の格差は正か。
答 学習に行き詰まっている中学生を対象に学習の機会と考えている。

問 公共施設の統廃合問題、学校統廃合の方針について。
答 公共施設白書では、今後40年で30%の施設削減が必要となる。文科省が小中学校統廃合の手引きを改定した。当市も子どもの数が減っている学校があり、小学校の適正配置を、教育面、施設の適正化の両面から捉えて、



問 早急に検討に入りたい。人口増加策、企業誘致策、税収を上げるためどちらを優先するのか。
答 人の増加が仕事を呼び、企業が人を呼ぶ。並行して進めていきたい。

問 前後駅前・豊明駅前活性化をどう考えるか。
答 前後駅前広場は、市の主催イベントでは火気使用も視野に入れ考えていきたい。

問 豊明駅前花き市場と駅をつなぐエリアを研究していきたい。

一般質問

小浮市長が掲げたマニフェストについて 今後のアセットマネジメントの方向性について

早川 直彦 議員



問 小浮市長が掲げた内容は、マニフェストと選挙公約のどちらなのか。

答 財源を示していればマニフェストになると解釈している。事業の規模や時期、予算など、当選してから職員や関係諸団体と協議し決定することが現実的と考えていた。今、順番に進めている。

問 マニフェストの各事業費を掲載しなかった理由は。

答 有権者の方々にとってつくべきでないことが前提である。そのため、事業費を掲載していない。

問 マニフェストを確実に実行するためのシステムづくりを行う考えは。

答 優先順位を高め早急に実施する考えはない。そのために職員を配置する必要があり、人件費がかさむ。人件費等の問題を考えれば、30代後半から40代前半の人口流出に歯どめをかけることが最優先事項であると考えている。

問 今後のアセットマネジメントの方向性について。

答 アセットの計画がすべて決定しなければ、施設の再配置をしないのか。

答 全体計画をつくった中で再配置を進めたい。

問 事業仕分けで廃止となった農業改善センターはどうするのか。

答 太鼓や調理室の代替施設を探しているところから始まり、今現在に至っている。移転にはまだまだ時間がかかる。

問 豊根村の野外教育センター・宿泊棟の建替え中止後の小浮市長の考えは。

答 不登校対策に全力を傾けるための財源として宿泊棟の再建を断念した。豊根村のすばらしい自然をもっと利用してもらうことは市民にとっても大きなプラスになる。いろいろな形で豊根村と協議し、市民がどんどん豊根村に訪れるよう、市全体で取り組んでいく。

一般質問

奨学金借入による困窮問題について スクールソーシャルワーカーの活用について

蟹井 智行 議員



問 奨学金を貸与されている豊明市内の学生の状態はどうか。

答 ことし3月に実施した市内の高校生対象のアンケート調査から、奨学金を借りる予定の生徒が40・3%いることなどがわかってきている。

問 豊明市の企業に就職しようと考えている若者に奨学金の返済を肩がわりする制度か、奨学金返済支援制度をつくれぬか。

答 若者が市内の企業に就職するということは、市の税収アップにつながる。他市において奨学金返済支援制度を行っているところもあるので、参考にしながら前向きに検討させていただきたい。

問 豊明市内の企業に就職するといったことであれば、市としても積極的に肩がわりしていきたいと思っし、その枠はかなり大幅に市長部局としてはとっていききたい。



3月に完成した中央小学校の新校舎

問 スクールソーシャルワーカーの活用について。

答 スクールソーシャルワーカーの配置予定は。平成27年度から中学校に1名配置して各学校を巡回します。

問 スクールソーシャルワーカーの採用基準は。

答 社会福祉士や精神保健福祉士、臨床心理士を考えています。

問 今年度は1人だけの配置であるが、来年度以降の増員の予定は。

答 本年度の状況を見ながら来年度の配置、増員を考えていきたい。

一般質問

投票環境の改善・投票率のアップについて 婚活・妊娠・出産・子育てについて 不育症について

一色 美智子 議員



問 選挙公報をもう少し早く配布できないか伺う。

答 早くできるよう一度検討させていただきます。

問 ネット選挙が解禁になり選挙公報のホームページへの掲載について伺う。

答 考えていかなければ、やってもいいのかなと思っております。

問 投票所へ御自身の投票のためにメモ等の持ち込みについて伺う。

答 御自身のために使っていたら、見ていただくことは何ら問題ございません。

問 婚活・妊娠・出産・子育てについて伺う。

答 今後の婚活支援・対策について伺う。

答 婚活事業の実施の予定はなし。支援はしてまいります。

問 思い出に残る市独自の婚姻届の作成について伺う。

答 何らかの形でお渡しできるよう考えていきます。



問 妊娠中の医療費の助成について伺う。

答 妊婦中の医療費の助成を考慮しております。

問 入院治療の範囲で助成を考慮しております。

問 時期については検討中。ネウボラ、ワンストップで支援する仕組みづくりについて伺う。

答 今後詰めていきます。

問 子育ての相談体制の充実について伺う。

答 いろんな相談体制をとれるような配慮はしております。

不育症について

問 広報やホームページに掲載について伺う。

答 掲載は可能と思う。

問 不妊治療の助成の拡大・延長について伺う。

答 見直しを図り、積極的に展開していきたい。

一般質問

ふるさと納税の具体策について 勅使水辺公園を桜の園にしよう

近藤 裕英 議員



問 市長はマニフェストで、『ふるさと納税で豊明の農産物を全国発信』としてみえますが、これからの取り組みについて質問します。

答 ①市長の考える、ふるさと納税で、豊明の農産物等の全国発信のプランとは。

答 ①いつから実施するのか。②目標とする件数、金額を具体的に数字で示していただきたい。

答 ①市内の農産物の旬の詰め合わせ、ほかに市内の食品生産会社とコラボして、プレミアムパッケージ商品の開発、JRA中京競馬場の協力による特別観覧席の利用等を考えています。②9月開始予定。JRAについては、9月以降のレースから実施したいです。③年度内に1000件で、1000万円を目指したい。また、ホームページも、より告知能力を広げられるサイトに変更します。



高年齢者の力で勅使水辺公園を桜の園にしよう

問 市民の方からいただいた提案ですが、勅使水辺公園に高年齢者が還暦・古希・喜寿などの祝いの節目に管理費を含み桜の木を寄附し、桜の名所とすることはできませんか。

答 本年度、愛知県が開催地となっている全国都市緑化フェアのサテライト会場として、20本で多種の桜を植える計画がありますが、植樹のスペースに限りがあるため、桜の名所とする構想はありません。今後は三崎水辺公園の桜を整備していき、引き続き桜の名所として市民の皆様が親しんでいただけますよう、桜の里親制度も含めて調査検討していきます。

一般質問

投票率のアップをめざして 市民と市長との意見交換の場を求めて

ふじえ 真理子 議員



問 4月実施の選挙の検証と分析は。

答 投票率は期日前が約12%で2%増、全体では55.9%で微増であった。期日前投票を前後駅隣接の商業施設内ひまわり広場にも設置しては。

問 不可能ではないが、二重投票の防止など設備投資が必要となり、一般の投票所環境の改善も含め全体として見直していく必要はあると思う。

問 若い有権者への啓発として、明い選挙推進協議会委員に若者はいるか。

答 いない。立会人には成人式実行委員の方に依頼している。

問 身近な問題を自分で考え、発言し、決定に参画していく「主権者を育てていく」「主権者教育」が小中学校でも必要と考える。教育長の見解は。

答 主権者教育の充実は不可欠だと思っている。子どもにも、自分も社会の一員なんだと実感させて

問 市長自ら地域に出向くタウンミーティングの定期開催を求める。

答 8月ごろから9小学校区で実施していきたい。市政の方向を説明、地域課題や意見を聞く時間を十分にとり、時間帯は仕事をされている方も参加しやすい夜を考えている。

市民と市長との意見交換の場を求めて



問 いくことが大事だと思う。社会見学の一つに議会の傍聴や、子ども議会の開催を提案する。

答 主権者教育の効果など研究はしていきたい。

一般質問

こうき正典後援会だよりの「医療福祉パーク構想」とは?

後藤 学 議員



問 どのような構想か。

答 藤田学園が医療、介護、福祉の先進事例として考えている。市としても、メリットが出るような事業をつなげていきたい。

問 高齢者が豊明に入ってきて、介護や国保で負担が増えるという落とし穴も十分念頭に。

答 構想推進の時期は、名古屋岡崎線が山田あたりで豊明の道路と接続するのを想定しているのか。

問 早期開通を目指し、その範囲で藤田学園と協議を進めていきたい。

宅地開発と人口増

問 調整区域でも宅地開発ができる「優良田園住宅制度」を取り入れる検討をしたことがあるか。

答 駅や市役所などの1キロ圏内で市街地整備を進めたいので検討しない。

問 人口がふえ、財政豊かな隣のふよし市でも、この制度を設けている。策定中の総合計画等の中で検討してはどうか。

答 人口増の一つの手法として、今後勉強する。

人事評価の見直しを



未開発な調整区域の風景

問 職員の人事評価が絶対評価で、普通以上が全体の96〜97%になっている。相対評価も組み合わせ、妥当性を吟味するシステムに改善を。

答 検討する必要があるかと考えている。

問 人事評価の給与差が定年まで続き、退職金、年金にまではねかえるシステムになっている。ポナスでメリハリをつけるべきだと思うが。

答 ポナスで一過性とするのも検討したい。

一般質問

英語教育について 本市での出産について I T 端末に向けた情報提供について

清水 義昭 議員



問 授業のない土曜日などに英語に触れる機会を設けてはどうか。

答 来年度から予定している土曜学習に、補習授業だけでなく英語の講座も開催したい。

問 友好自治体と協力し、イングリッシュキャンプを予定してはどうか。

答 豊根村との交流を続けていきたいので、その中の一つの選択肢とは考えている。

本市での出産について

問 出産施設に対する支援の考えは。

答 市内で出産できる病院は大学病院の1カ所。開設に対する支援は行っておらず今後も予定はない。

問 妊産婦歯科健診については。

答 地元の歯科医師会との契約のため、市内の歯科医師でのみ受診可能で、平成26年度の受診率は21.6%。

問 産後健診の助成に対する本市の見解は。

答 現在豊明市では産後健診の助成は実施していない。産前産後についての支援の必要性を感じているので、産後健診の導入については今後検討していきたい。

I T 端末に向けた情報提供について

問 市のホームページの作成、更新について伺う。

答 各課の担当者によって掲載されている。リンク切れや古いイベントが載っていることについては改善をしていきたい。

問 CMS(コンテンツ・マネージメント・システム)の導入予定や計画について伺う。

答 初期費用が高コストとなるため、少し時間をかけて結論を出していきたい。

一般質問

財源確保の手段としての新電力事業への取り組み

富永 秀一 議員



問 今、自治体が主体的に再生可能エネルギーの発電事業を行い、得た収益で市民サービスを向上する動きが広がっている。本市でその考えはないか。

答 10年位のスパンで考えて、市の財政収支として採算が合うのであれば、積極的に推進したい。

問 電力小売完全自由化に向け、自治体が電力会社を設立する動きが群馬県中之条町、山形県など広がり始めている。本当の意味での電力の地産地消になり富の流出も防げるがその考えはないか。

答 財源確保について課題になっていることは確かなので、その方向性も視野に入れて研究したい。

問 水面を利用したメガソーラーが埼玉県、兵庫県などで次々稼働を始めている。本市も面積の7%を占める池を活用する考えはないか。

答 総合的な話の中で判断して研究していきたい。

送迎保育ステーションの設置について



埼玉県桶川市にある日本初の水上メガソーラー

問 市内の保育園は7時半から遅い所で19時まで。これでは名古屋の中心地で朝8時始業や18時終業の会社に通えず、人口増は困難では。駅近くに送迎保育ステーションを設置してはどうか。10年前に導入した千葉県流山市では朝7時から預け、夜21時まで引き取れる。子どもは市内の保育園に送迎するので小さな施設で可能。人口2万人増、市税収入2割増を実現した。

答 駅前保育所の実現を優先させたい。

一般質問

豊明市北部の都計道路の建設促進について

村山 金敏 議員



問 当局と尾張建設事務所の話の内容と結果は。

答 名古屋岡崎線については昨年度に県に工事区間の早期完了と関連道路の整備と未着手区間の早期着工を要望している。

問 促進協議会から石川市長に要望書が提出されたが小浮市長は県にどのような働きかけをするのか。

答 促進協議会の要望書は尾張建設事務所長に提出している。未着手区間については豊明市外の区間とあわせて優先順位を検討し、事業効果の高いところから事業化したいとの回答があった。市も引き続き要望していく。

問 愛知県議会自民党政調会長宛てに促進協議会から要望書が出されたが、その展開は。

答 県議が愛知県に早期要望している。

問 関係自治体との協議は。

答 刈谷市と連携をとり

問 ながら県に要望していく。促進協議会では7月に国や県、中部地方整備局に要望をする予定である。

問 沿線の開発計画は。

答 名古屋岡崎線の周辺については新たな産業系の土地の利用を進める候補地区で、他の地区も含めて考えていきたい。

問 市道の整備について。

答 市道新田70号の未舗装部分について、今後の整備計画について。

問 道路認定以前から長年生活道路として利用されてきた。今後も災害時等の避難道路としても必要である。土地所有者と用地交渉をしている。

問 水害対策について。

答 当市の水害対策について再度質問する。

問 天王川の指定変更や河川改修の基本計画を策定し被害を軽減する。

一般質問

子どもの権利を守るまちを目指して

郷右近 修 議員



問 子どもの医療費助成制度を18歳までに延長すべきと考えますが、市の見解を。

答 今のところ実施する予定はありませんが、費用や効果を慎重に研究したいと考えています。

問 子どもの権利条約をつくる計画はどこまで進んでいますか。

答 次世代育成支援行動計画や子ども子育て支援事業計画が、子どもの最善の利益を考慮したものとされており、現段階ですぐに制定する考えはありません。

問 就学援助に関して

問 購入する学用品に活用できるように、入学前に就学援助費を支給する制度を作るべきではないか。

答 給食費、修学旅行費及び校外活動費は実費を支給しているので金額が決まらない入学前の支給は難しいと考えています。

問 毎年保護者へ就学援助制度の通知を行うべきではないか。

答 学校だよりに就学援助の御案内ができるかどうか、しっかりと研究したいと思います。



問 自由で自主的な教育の保障について

問 教育大綱は教育委員会と首長が対等平等で民主的に策定すべきでは。

答 教育大綱の策定は、教育委員会と首長が十分に協議、調整を尽くした上で進めるべきと考えています。

一般質問

新市長に聞く「豊明市の将来に向けて」

近藤 郁子 議員



問 豊明市が活力あるまちを目指すために、市民と共通認識を持ち、市民一丸となれる施策と市のリーダーシップが必要となる。そこで新リーダー市長に伺う。

答 市長指示で行われる、または行われた事業について具体的に。

問 商工会と行うプレミアム商品券では子育て世代等に、より利便性の高い形で購入できるような仕組みをつくる。不登校児童増加の解決に向けてスクールソーシャルワーカーの配置等教育委員会と取り組んでいく。今後の事業は、各団体、企業をはじめ近隣市町、県、国にも働きかけていく。実際に事業が進むのは、来年度の予算を議会に認められてからになる。

問 そのための財源確保は。

答 税収の伸びは本当に微増。人口をふやす一方、産業振興を進めていかな

問 豊明市が活力あるまちを目指すために、市民と共通認識を持ち、市民一丸となれる施策と市のリーダーシップが必要となる。そこで新リーダー市長に伺う。

問 市役所は民間のサービス業と異なり、市民にとっては選択できない無二のサービス機関。市民の日常を支えるサービスのあり方は。

答 今までは受身身的であったことは否めない。私自身が各地区に出向いて、市がきちんと市民の意見を聞くという姿勢をわかっていただくことから、市役所に来ていただく垣根を低くして、市民と市役所が率直に意見交換できる空気を豊明市全体としてつくっていきたいと考えている。市民と一緒に市役所の運営をしていきたいという意向を市民に理解いただけるように努力していきたい。

一般質問

時代から取り残されている小中学校のトイレ <一つの洋式トイレに並んで待つ子どもたち>

宮本 英彦 議員



問 便器は和式で扉はガタガタ。家庭のトイレは9割が洋式トイレとなっているにもかかわらず小中学校のトイレだけが時代から取り残されている。市内の小中学校及び近隣市町の和式・洋式トイレの実態は。

問 市内の洋式化率は小学校が46%、中学校が35%。日進市の小学校が66%、中学校が51%、長久手市の小学校が67%、中学校が72%。

問 中央小学校では1年生の女子トイレは洋式が一つだけ、小さな女の子が我慢しながら並んでいる現実をどう思うか。

答 並んでいるのは承知している。29年度までは体育館の耐震対策のつり天井工事が優先。新たな計画策定の中で検討したい。

問 学校の体育館は災害時の避難場所。和式トイレは特に高齢者には大きな負担になる。



問 法改正により昨年4月に臨時職員の任用更新が5年となった。5年後は全員契約解除になるのか。

答 それまでに業務委託とか指定管理などの移管を検討する。移管できないものは人をかえるか、あるいはクーリングで半年後に同じ人を再雇用する。

問 臨時職員の雇用期間

答 体育館の耐震工事にあわせて多目的トイレを整備する予定。

便器は和式でトビラはガタガタ

議会だより 刷新中!

今、豊明市議会議会改革推進協議会を立ち上げ、より市民の皆様のために働ける議会、議員のあり方の模索を始めています。

この「とよあけ市議会だより」も、市民の皆様は、議員がどのように働いているかお伝えできる貴重な機会の一つです。ですから、できるだけ議員みずからの手で、より分かりやすく、読みやすく刷新しようとしています。

文字を拡大

まずは文字を大きくしました。これまで1段当たり13文字×33行だったものを、11文字×30行に改め、その分、文字を大きくしました。

読みやすくなりましたでしょうか?

レイアウトを工夫

一般質問の部分は、これまで、1ページ当たり2人分を掲載し、5段のうち、3段目の途中で分ける形にしていたのですが、今回、上下にハッキリと分けることにしました。また、見出しを大きくして、議員の顔写真も入れました。

さらに、質問内容に係る写真やグラフ、表等を掲載することにしました。

議員の執筆部分を拡大

これまでより議員自身が執筆する部分をふやしました。

例えばこれまで一般質問は、質問の部分だけ議員が書いていましたが、今回は答弁部分も含めて議員が書いています。

答えが違ってはいないかについては、議会だより編集委員会で、会議録と

照らし合わせて確認しました。

このほか、表紙の写真、どこに何の記事を入れるかなど、これまで事務局などにお任せすることが多かった部分についてもできるだけ委員会で話し合っただけで決めるようになっています。



皆さんもご意見がございましたら、ぜひ編集委員会までお寄せください。

議会報告会を開催します

豊明市議会は、豊明市議会基本条例に基づき、市民に開かれた市議会を目指し、議会報告会を開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

■日時

平成27年11月14日(土)
午後7時～午後9時
(午後6時30分受付開始)

■場所

文化会館ギャラリー

■内容

各委員会による議会報告
議会改革推進協議会の報告等

※当日は、直接会場にお越しください。

